

※令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症対策のため、会場を2つに分けて実施します。

**熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学科**  
**令和2年度(2020年度) 卒業論文・卒業設計発表会 プログラム**  
**日時:令和3年(2021年)2月7日(日)午前8時20分～**  
**第1会場:大ホール**

21名

種別	発表 番号	梗概集 番号	題目	発表時間
設計	1	35	萌黄団地	8 : 30 - 8 : 40
設計	2	36	あなぐら	8 : 41 - 8 : 51
設計	3	37	蔵々を紡ぐ	8 : 52 - 9 : 02
設計	4	38	たまり場の引越し	9 : 03 - 9 : 13
論文	5	34	介護予防を目的とした住宅改修支援制度の在り方 - 熊本市を対象として -	9 : 14 - 9 : 24
換気(5分)				
論文	6	7	家族経営を引き継ぐ新規就農者の意識の変化に関する研究	9 : 29 - 9 : 39
論文	7	8	集落活動からみた移住者の受け入れに関する研究	9 : 40 - 9 : 50
論文	8	9	廃校利活用の検討のプロセスにおける住民の関わりに関する研究	9 : 51 - 10 : 01
論文	9	10	農村部における自治会の新型コロナウイルスへの対応と地域の存続に関する研究	10 : 02 - 10 : 12
論文	10	11	熊本地震における集落内の自主避難拠点の実態に関する研究	10 : 13 - 10 : 23
論文	11	12	豪雨による被災と球磨川流域における暮らしに関する研究～八代市坂本町を事例に～	10 : 24 - 10 : 34
換気(5分)				
論文	12	13	戦後の天草地域の観光パンフレットから読み取る観光様式の変遷	10 : 39 - 10 : 49
論文	13	14	日本における応急仮設住宅の供給方法と居住性能の変遷	10 : 50 - 11 : 00
論文	14	15	周囲の環境と人的要因が視覚的触感に及ぼす影響	11 : 01 - 11 : 11
論文	15	16	夜間街路環境に対する歩行者の印象評価に影響を及ぼす要因	11 : 12 - 11 : 22
論文	16	17	生活環境の違いが様々な音環境での集中度合いと印象評価に与える影響	11 : 23 - 11 : 33
換気(5分)				
論文	17	29	RC建築物と再生粗骨材を用いたRC建築物のCO2排出量の比較	11 : 38 - 11 : 48
論文	18	30	円形CFT柱の安定限界軸力に関する解析的研究	11 : 49 - 11 : 59
論文	19	31	諸国の構造設計規準類に基づく角形コンクリート充填鋼管柱の耐力の比較	12 : 00 - 12 : 10
論文	20	32	水害時における避難所のあり方に関する研究	12 : 11 - 12 : 21
論文	21	33	バイオメティクスを活用した建築物に関する研究	12 : 22 - 12 : 32